

## 2020年度長谷工グループCSR行動計画

| 4つのCSR取り組みテーマ  | 18の重点サブテーマ   | 創業100周年(2037年)ありたい姿  | 2020-2024年度長谷工グループの取り組み項目  | 指標(KPI)／目標数値   | 実績  |  |
|--|--|--|--|--|---|--|
| 住んでいたい空間<br>様々ななひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き生きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進するとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードとしていきます。 | 安全・安心・快適<br>1 安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している | ①品質の維持・向上<br>②マンション再生事業の推進<br>③再開発事業の推進<br>④ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入<br>⑤緊急時24時間対応できる仕組みの継続 | ・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ<br>・長谷工アリバーアーバン採用戸数<br>・技術開発件数<br>・マンション建替え・長寿命化相談件数<br>・マンション再生に関わるセミナー開催回数<br>・取り組み件数<br>・BIM&LIM(住まい情報と暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続<br>・アール24センター警報受信件数、対応率100% | 0件<br>8,113戸(累計92,324戸)<br>2件完了、7件継続中<br>65件<br>6件<br>検証継続<br>(Feel I Residence)<br>54,961件、100%   |   |  |
|  |  | ⑥マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進   | ・災害に強いマンション提案仕様<br>採用100%<br>・災害対策技術開発件数<br>(地震・免震・制振・耐震・台風等)<br>・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率   | 100%<br>2件継続中<br>100%  |   |  |
|  |  | ⑦多様なライフスタイル<br>3 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている                            | ・社会ニーズに応える建物・サービスの提供<br>②DX実現化に向けた取り組み<br>③超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等  | ・新型コロナウイルス対応導入促進<br>・事業化件数<br>・取り組み件数<br>・高齢者施設・住宅・サービス事業化件数<br>・シニアライフ相談窓口対応件数  | 事業主提案実施<br>5件<br>5件<br>1件<br>2件   |  |
|  |  | 4 保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している                                  | ①住宅を核とした複合開発の推進  | ・取り組み件数  | 2件継続中   |  |
|  |  | 5 地方活性化を推進している   | ②地方での事業展開推進<br>③明日香村事業推進   | ・展開エリア数<br>・事業推進件数   | 5エリア<br>4件  |  |
|  | 暮らしの環境配慮<br>7 住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になってい                  | 6 地域コミュニティ形成に貢献している  | ④地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり   | ・マンション打ち水大作戦参加組合数<br>・HCM管理物件でのイベント実施<br>(100戸以上総合管理物件にて年1回)   | コロナ禍により開催せず<br>コロナ禍により開催せず  |  |
|  |  | 7 住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になってい  | ①マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用   | ・集合ZEH事業採抲件数<br>・環境負荷低減技術開発件数<br>【長谷工コーポレーション】ISO14001目標に基づく削減<br>・CO2削減率10%以上(設計)<br>・環境配慮設計採用率   | 3件<br>2件完了、4件継続中<br>東:12.5%、西:11.2%<br>東:98.0%、西:98.7%  |  |
|  |  | 8 多様な人びとの活躍  | ①働き方改革の推進<br>②様々な職場での女性の登用と活躍支援<br>③育児・介護関連の支援制度の拡充と推進<br>④障がい者と共に働く職場の実現<br>⑤シニア人材の活躍に向けた支援<br>⑥外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進  | ・MOS活動の推進<br>・テレワークの推進(在宅勤務等)<br>・女性管理職登用の促進<br>・えるばし認定取得<br>・長谷工コーポレーション】新卒採用における女性比率30%<br>・くるみん認定取得<br>【長谷工コーポレーション】配偶者出産休暇取得率80%<br>・育児休業取得率(男性)20%<br>・子ども休暇取得率(男性)50%<br>・障がい者雇用率2.2%<br>・60歳研修継続実施<br>・定年再活用者数<br>・体制整備 | 計画通り実施<br>継続実施<br>女性管理職比率9.0%<br>未取得<br>29.7%<br>28.0%<br>未取得<br>42.5%<br>6.8%<br>40.6%<br>1.99%<br>(2020/6/1時点)<br>8月実施<br>189名<br>継続中 |  |
|  |  | 9 労働環境・安全衛生  | ①安全衛生管理体制の徹底<br>②労働環境の整備   | ・中央安全衛生委員会の開催<br>・死亡・重大事故灾害ゼロ<br>【長谷工コーポレーション】<br>・労働災害率0.60以下<br>・労働災害強度率0.01以下<br>・コロナ対策継続推進   | 年1回開催<br>0件<br>0.52<br>0.01<br>継続推進   |  |
|  |  | 10 社員一人ひとりの心身の健康づくりを支援している   | ③健康経営の実践<br>④従業員の心身の健康増進   | ・グループ健康経営推進委員会の開催<br>・健康経営優良法人の認定取得<br>・健康診断受診率100%<br>・特定保健指導実施率15%<br>・ストレスチェック受検率100%   | 年1回開催<br>認定取得<br>99.8%<br>26.3%<br>97.2%  |  |
| 働いていたい場所<br>多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。                 | 人材育成・技術継承<br>11 業務効率化・生産性向上につながる先進技術開発をリードしている           | 11 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多種多様な教育を実施している   | ⑤DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による労働生産性向上  | ・業務改善施策件数  | 7施策稼働中  |  |
|  |  | 12 未来の住まいと暮らしに育む人材・組織づくり   | ①自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり<br>・自己学習支援「長谷工ビジネスカレッジ」受講人数  | 【長谷工コーポレーション】<br>・外部とのコミュニケーション強化<br>・イベント等による啓蒙   | 2,052名  |  |
|  |  | 13 住まいと暮らしに子どもから大人まで学ぶ場を提供している   | ②技術・スキルの継承   | ・長谷工マンショングループ会員数<br>・イベント件数、参加人数   | 1,153名(累計10,534名)<br>2件、682名  |  |
|  | 14 サプライチェーン  | 協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している   | ③協力会社におけるリスク対策   | ・協力会社との連携を強化・継続推進<br>・パリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催<br>・開発テーマ数<br>・総会にて啓蒙活動を実施   | 開催<br>25件<br>実施(年1回開催)  |  |

| 4つのCSR取り組みテーマ  | 18の重点サブテーマ       | 創業100周年(2037年)ありたい姿   | 2020-2024年度長谷工グループの取り組み項目   | 指標(KPI)／目標数値  | 実績   |
|--|------------------|-----------------------|---|---|--|
| 大切にしたい風景<br>住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切にする現場・職場をつくっていきます。   | 資源循環<br>15       | 資源循環                  | ①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善<br>②建設廃棄物の削減を促進<br>③オフィス・建設作業所における3R拡大                         | ・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ<br>・外部表彰受賞件数<br>【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減<br>・混合廃棄物6kg/m <sup>2</sup> 以下<br>・混合廃棄物のリサイクル率77%<br>【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減<br>・文房具グリーン購入率90% | 0件<br>1件<br>東:5.3kg/m <sup>2</sup> 、西:3.6kg/m <sup>2</sup><br>東:82.3%、西:83.1%<br>東:90.9%、西:90.0% |
|  |                  | エネルギー・CO <sub>2</sub> | ①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善<br>②施工段階におけるCO <sub>2</sub> の削減<br>③CO <sub>2</sub> 排出量削減目標の策定 | ・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ<br>【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減<br>・CO <sub>2</sub> 排出量削減、発生原単位12.7t-CO <sub>2</sub> /億円以下<br>・省営費運転に関する講習会実施回数、参加人数<br>・企画検討開始                      | 0件<br>東:9.9t-CO <sub>2</sub> /億円、西:9.0t-CO <sub>2</sub> /億円<br>40回、1,506名<br>企画検討開始              |
|  |                  | 16                    | ④建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進<br>⑤事業活動における太陽光や再生可能エネルギーの積極活用<br>⑥生物多様性保全活動(長谷工の森林)        | 【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減<br>・電力使用量NB計画期間(2017~2019年)の平均実績値以下<br>・導入件数<br>・活動によるCO <sub>2</sub> 削減の定量化  | 東:17.7%、西:▲4.5%<br>2件<br>コロナ禍により活動中止   |
|  |                  | 17                    | ⑦集合住宅への木材活用   | ・建物主要構造部における木造活用採用件数  | 4件   |
|  |                  | 18                    | ①環境法規制等の遵守<br>②生物多様性への配慮<br>③建設現場近隣住民への配慮<br>④周辺環境配慮技術の開発                             | ・土壤、水質、粉塵等重大な汚染発生ゼロ<br>・外部表彰受賞件数(ABIN認証含む)<br>【長谷工リフォーム】<br>・低振動・低騒音工具の採用(各部半期1件)<br>・技術開発件数  | 0件<br>6件<br>100%<br>1件継続中  |
|  | サプライチェーン<br>19   | サプライチェーン              | ①サプライチェーン全体の環境負荷低減を実現する基盤を確立している  | ・協力会社CSR教育実施  | 実施   |
|  |                  | 20                    | ②CSR調達を実現している   | ・CSR調達方針の検討・策定<br>・CSR調達方針の検討・策定  | 検討実施<br>検討実施   |
|  |                  | 21                    | ①環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化<br>②コンプライアンスの徹底<br>③ガバナンス体制の強化                              | ・リスク統括委員会開催<br>・BCP継続運用(震災対応・感染症対策含む)<br>・内部監査カバー率<br>・コンプライアンスに関する講習会受講率<br>・コンプライアンス委員会開催<br>・eラーニング受講率100%<br>・取締役会の実効性評価アンケートの実施  | 4回<br>継続運用<br>97.9%<br>実施なし<br>100%<br>実施  |
|  |                  | 22                    | ①人権尊重のための仕組みを確立し、実践している   | ・人権方針の策定と人権デューデリジェンスの整備<br>・②ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化   | ・人権方針策定<br>・ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化   |
|  |                  | 23                    | ①ステークホルダーとの対話の実施  | ・株主・機関投資家・アナリスト等とのコミュニケーション活動<br>・イベント実施  | 計177回実施  |
| 信頼される組織風土<br>ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践しています。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していきます。 | 情報開示・対話の強化<br>24 | 情報開示・対話の強化            | ②ステークホルダーに對し積極的な情報開示を行っている  | ・Webサイトの適時更新<br>・報告書の定期発行<br>・ESG情報開示に対する外部評価向上   | 随時更新実施<br>発行<br>向上   |
|  |                  | 25                    | ①一人ひとりの社員の所属や階層に必要なCSR教育が実施され、CSR経営がなされている  | ・CSRに関する講習会受講率、受講者数<br>・CSRに関するeラーニング受講率100%  | コロナ対策により実施なし<br>99.1%  |
|  |                  | 26                    | ①地域の社会課題解消モデルを広く社会に提示している   | ・イベント実施   | 実施   |
|  |                  | 27                    | ②社会貢献活動を推進  | ・社会貢献活動参加人数<br>・社会貢献活動方針策定  | 704名<br>継続   |
|  |                  | 28                    | ③災害発生時の暮らしの復旧を支援している  | ・災害支援体制と方針の検討・確立  | —  |
|  | 社会貢献活動推進<br>29   | 社会貢献活動推進              | ①お客様の満足度向上を目指した取り組み推進   | ・グループコールセントラルの稼働を段階的に推進<br>・プランシエラクラブ会員数  | 5社稼働<br>253,357人   |
|  |                  | 29                    | ②グループ内の情報共有およびコミュニケーション強化   | ・グループ内の情報共有およびコミュニケーション強化<br>・社員に浸透しており、企業経営に寄与している   | 3,091件、467件  |